

かんたんに
写真プリントと
色が合う!

[EIZO] Quick Color Match ver.2.1

写真家・木村琢磨も使っている

用紙のバリエーションが増えて表現力がアップ



だが、ディスプレイの色とプリントの色は透過光と反射光という根本的な差があり、色合わせを実現するためには、ディスプレイ

に対応したことでより表現の幅が広がったのは非常に嬉しいことだ。特にアート紙で色が合わないといった悩みもこれからはなくなってくる。色再現に優れたColorEdgeモニターと新しくなったQuick Color Matchを使って、簡単な操作で色をシミュレーションしながら、本格的なプリント作品作りを楽しんでほしい。

今はパソコンやスマートフォンなどのディスプレイで作品を鑑賞することが当たり前になりつつある。誰でも手軽に作品を発表できる楽しさはデジタルならではの楽しみ方だろう。しかし、ディスプレイでの鑑賞はユーザーの環境に依存するため撮り手の意図した色やサイズ、質感などが伝わりにくい。私がプリントにこだわる理由は紙ならではの質感、そして意図したサイズで表現できることだ。用紙には何十何百という種類があり、それぞれ特徴を持っている。紙を使い分けることで同じ作品でもさまざまな表現を楽しむことが可能となる。

の調整だけではなく、タッチソフトの設定、プリンターの設定を正しく行う必要がある。これはユーザーにとっては複雑で難しく間違いやすい工程だったが、ColorEdgeとQuick Color Matchを使えば、この工程を簡略化。わずか3ステップで色が合う。今まではエプソン、キヤノンの光沢、マットなど純正用紙のみに対応していたが、今回のバージョンアップでピクトリコやイルフォードのアート系用紙にも対応した。僕が愛用しているピクトリコのデザインペーパープラスを始め、表面に細かな凹凸のあるコットン製の用紙など、2社の人気用紙

ディスプレイとほぼ差がないプリント



ピクトリコのホワイトフィルムにプリントしたものとディスプレイを比べてみる。両者にほとんど差がなく、画面でイメージした通りのプリント結果であった

Quick Color Matchとは

ディスプレイとプリントの色を合わせたい

従来

- ディスプレイの表示調整
- ソフトのカラー設定/用紙設定
- プリンタードライバの設定...など

手動で設定

Quick Color Match

全てを自動で設定してくれる!

Quick Color Matchに必要な機材



Quick Color Matchを使うには対応製品が必要となる(※)。ディスプレイはEIZOのColor Edgeシリーズ、プリンターはエプソンならプロセクションシリーズ、キヤノンではPROシリーズなどだ。プリント確認用に色温度5,000Kの評価用ライトも用意したい。EIZOからオプションとして購入できる

- 1 カラーマネージメントディスプレイ (ColorEdge CS2730、CS2420など)
- 2 レタッチソフト (Adobe Photoshop CC/CS6など)
- 3 プリント確認用の5,000Kの高演色環境照明 (Z-80PRO2-EIZOなど)
- 4 プリンター (キヤノン PRO-100S / 10S、エプソン SC-PX5VII / 7VIIなど)
- 5 用紙 (キヤノン&エプソン純正紙、イルフォード、ピクトリコ)

※対応機種に関しては、EIZO Webサイトをご確認ください。
<http://www.eizo.co.jp/products/ce/qcm/>

ピクトリコの対応用紙を使いこなす

- 対応用紙*
- ピクトリコプロ・ホワイトフィルム
 - ピクトリコプロ・フォトペーパー
 - ピクトリコプロ・セミグロスペーパー
 - ピクトリコプロ・ソフトグロスペーパー
 - ピクトリコプロ・コットンペーパー
 - ピクトリコプロ・デザインペーパープラス
 - GEKKOブルー・ラベル

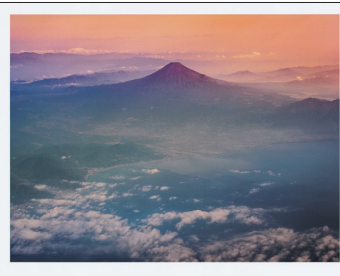
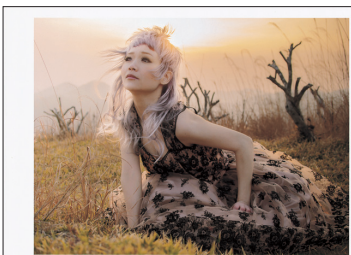


ホワイトフィルム

瀬戸内海の連絡船から撮影したユリカモメ。羽の質感や海面のグラデーション、撮影時に感じたすぐそこにユリカモメがいる空気感を見事に再現してくれた

ソフトグロスペーパー

夕景を背に女性モデルを撮影。シャドウ露出で魅せる女性の肌のきめ細かさをソフトグロスの質感とニュートラルな紙の白さで表現した



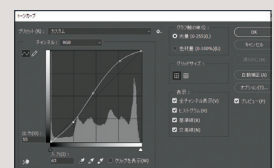
GEKKOブルー・ラベル

本来はモノクロプリントに適した用紙だが、夏の少し霞みがかかった大気のグラデーションの表現は多階調印刷紙のようだ



グロス系の用紙の良さを引き出すテクニック プリント前にコントラストをアップさせる

グロス系のペーパーは表面の光沢効果による発色の良さが特徴だ。透過光で鑑賞しているような鮮やかさを再現することが可能で光を感じさせる作品との相性が良い。プリント前に少しコントラストをアップするとより高い効果が得られる。先鋭感が強く、ディテールの細かい描写が画面を占める作品との相性も抜群だ。



コントラストはPhotoshopなどのトーンカーブを利用する。中央とハイライト、シャドウ部にポイントを打ち、Sを描くようにカーブを調整する

※プリンターによっては非対応の用紙があります

イルフォードの対応用紙を使いこなす

- 対応用紙*
- イルフォード ゴールドファイバーシルク
 - イルフォード ゴールドファイバークロス
 - イルフォード スムースコットンラグ
 - イルフォード テクスチャードコットンラグ
 - イルフォード スムースパール
 - イルフォード スムースグロス

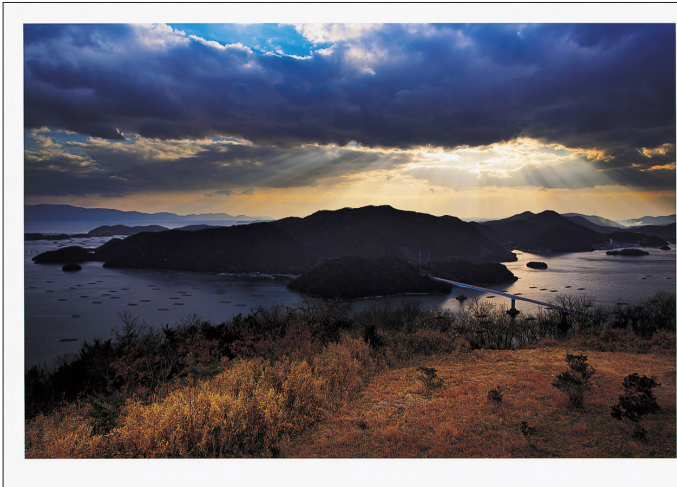
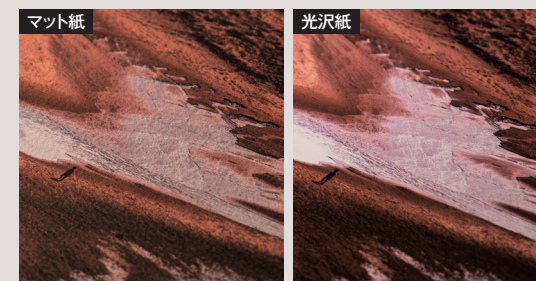
テクスチャードコットンラグ

表面の細かなテクスチャーと無光沢でマットな表面が鳥取砂丘のディテールと質感を再現。細かな描写と色の再現性はマット紙とは思えないほど



マット系の用紙の良さを引き出すテクニック 反射がないので立体感のある描写に

マット紙の質感を生かしたプリントを制作するため光沢の少ない被写体を選ぶと良い。先鋭さは光沢紙ほどではないが、柔らかい被写体などと相性が良い。下の比較カットのように反射が少ないために細かいディテールが見えてくる。レタッチでシャドウを締めて出力するとメリハリがついて効果的だ



ゴールドファイバーシルク

雲の切れ間から光線が差し込む輝度差のあるシーン。きめ細やかな表面は草木を先鋭に描写し、シャドウからハイライトまで滑らかに表現する。バライタベースのしっとり感と厚手の手触りで高級感のある仕上がりに



スムースパール

ナチュラルな白地は肌の再現性に優れており、背景の緑とドレスのレースを細かく描写し、シャドウ部も濁りのない色味で表現してくれた